



# JHFレポート

(社)日本ハンググライディング連盟 発行

2000年1月号



## 新年のご挨拶

社団法人日本ハンググライディング連盟 会長 川添 喜郎

新年明けましておめでとうございます。西暦2000年という大きな節目の年を迎えました。地球という豊かな星にいま現在在ることを皆さんと共に感謝し祝福したいと思います。

JHFも社団化されて早や5年目。着々と法人としての内容を整えてまいりましたが、いよいよ2000年1月1日より「JHFフライヤー会員登録」を開始します。長年の願望であったこの制度の実施は、JHFが会

員の皆様の会費によって運営されることを意味し、JHFが完全に独立、法人として完成したことを意味します。この制度は、文部省はじめ(財)日本航空協会、関係機関、そしてJHFの先達・現役員・委員の継続したご協力ご努力によって実現しました。このことを全国の会員の皆さんと共に感謝し喜びたいと思います。

私たちはこの事実を立て、公益法人としての自覚をもち、ハング・パラグライディングの素晴らしさを広く日本国中に普及・振興したいものです。

さて、最近のハング・パラグライダーの機材の進化は目をみはるものがあります。ま

た、エアスポーツ組織の改革の試み、業界の再編、各界の世代交替の動きも活発になってきました。私も昨年より会長を引き受けさせて頂きましたが、多くの組織・団体のリストラクチャリングはさらに進むものと思われま

JHFは1999年末、新橋より文京区春日に移転しました。心新たに新年を迎え、2000年度のJHF事業が「活き活きとフライト現場に活かされる活動」となるよう精一杯頑張りたいと思います。

全国のフライヤーの皆さんの日々の活動が今年も「安全で楽しい」ものとなりますようお祈りし新年のご挨拶とします。

## 2000年からのJHF

ついに2000年の扉が開き、JHFフライヤー会員登録が始まります。

(財)日本航空協会の「航空スポーツ登録制度」つまりフライヤー登録がJHFに移管され、2000年1月1日から「JHFフライヤー会員登録」としてスタート。これまでもフライヤー登録をした人イコールJHFの普通会员ということになっていましたが、会費をJHFに直接納めるわけでもなく、自分はJHFの会員だという意識を持たない人も少なくありませんでした。しかし今後は、会費を納める、JHFレポートが送られるといったことが、フライヤーからJHF、JHFからフライヤーへ、ダイレクトに行われるようになります。フライヤーにとってJHFがより身近なものになり、連盟活動が充実し、JHFがグンと成長する.....2000年は、そんな年になることでしょう。以下は、フライヤー登録の移管にもなって変わることを再確認しておきたいことです。

2000年1月1日から、日本航空協会のハング・パラグライダーフライヤー登録がなくなり、JHFのフライヤー会員登録が始ま

る。

JHFフライヤー会員登録をすると、JHFの会員になり、居住都道府県の連盟会員になる資格もできる。そのまま都道府県連盟会員となるかどうかは、県連盟によって異なる。

JHFの「会員」は、正会員(都道府県連盟)、フライヤー会員、賛助会員の三種。

フライヤー会員の会費は、1年間3500円。3年間なら1万円。コンビニエンスストアか郵便局で振込む。振込用紙は、フライヤー登録更新時に各人に送られる。また全国のスクールで手に入る。フライヤー会員登録手続きがその場でできるスクールもある。

フライヤー会員になると、第三者損害賠償責任保険に加入できる。保険の内容はこれまでのフライヤー登録とほぼ同じだが、タンデムもカバーするもの。

フライヤー会員には、JHFレポートが直接送られる。レポート代金と送料は会費に含まれる。まだ登録更新にならない人は、これまでどおり、都道府県連盟を通してレポートを入手できる。

## フライヤー会員登録いよいよスタート

事務局業務を効率よく行うため、また経費節減のため、JHF事務局を移転する。新住所は以下(12月中旬移転済み)。  
〒112-0003 東京都文京区春日2-24-11  
春日Shimaビル8階 TEL.03-5840-8311  
FAX.03-5840-8312

## 教員検定会終了、17名の新教員が誕生

10月・11月のハング・パラグライディング教員検定会が終了。飛行実技、教習実技、学科の三つの検定で合格した、以下の17名の方々が教員技能証を手にするにこと

ハンググライディング

塚部 修一 野間 靖弘 大野 修司  
伊藤 秀信 鈴木 実

パラグライディング

今泉 敦雄 高木 望 文字 英彰  
産本 元 嶋田 高寛 和波うらら  
八幡 信雄 大澤 行英 水沼 典子  
上野 陸 守屋 徹

新教員の皆さん、合格おめでとうございます。ますますのご活躍を!

## 空のかお

その28



大空 友(おおぞらとも)さん  
生まれながらにして空を友達にした人。幼い頃から空を飛ぶのが夢で、その夢を果たすべく1年前に静岡県朝霧高原にてパラを始め。現在B級。「早く上達して、自由自在に空中散歩するのが目標。」と元気に語る大空さんでした。埼玉県在住。

## 委員会の動き

### PG競技委員会 委員長 岡 良樹

このJHFレポートが出る頃には1999年のジャパンリーグ及びSPSのプレ最終ランキングが出ていることと思います。クレーム受付期間は1ヶ月ですので、チェックをお忘れなく。

今年も昨年同様、不成立の大会が多くありました。日本選手権も、世界選手権も不成立となってしまいました。誠に残念ではありますが、いよいよ節目の2000年が始まります。主催者も、選手も気を取り直し、心を新たに努力していただきたいと思います。2000年は、2001年の世界選手権(ワールドエアゲームとしてスペインで開催される)への日本チームメンバーを選考するための重要な年でもあります。初詣では、良いコンディションに恵まれるよう神頼みをしたいと考えています。

### HG競技委員会 委員長 大澤 豊

11月19日～23日に和歌山県で開催された99 KOKAWA CUPの結果をホームページに掲載しています。

1999年のポイントシステム対象大会の全日程が終了しました。ランキング表暫定版を発表しています。クレーム受付は2000年1月5日までです。また、2000年のポイントシステムの登録を受付中です。できるだけ早く登録してください。

2000年の大会開催スケジュールを作成しています。ポイント対象、非対象を問わず、大まかな日程でも結構ですので開催スケジュールをお知らせください。ちなみに、ポイントシステム対象大会の2000年第1戦は1月8日～11日開催予定の「丹沢スカイグランプリ」です。

また、2000年4月30日～5月5日に岩手県遠野エリアで開催予定の日本選手権は、FAIカテゴリー2にて開催の予定です。参加を考えている選手はFAIスポーティングライセンスの取得をされるよう準備をおいてください。

また、2000年のルールブックは一部訂正がありますのでご注意ください。

なお、委員会事務局にメールをくだされば競技委員会インフォメーションをお送りします。

### HG競技委員会事務局

FAX.0299-44-1346

E-mail:haku@tomato.saino.ne.jp

http://tomato.saino.ne.jp/~haku/JHF-HG.html

### 教習検定委員会 委員長 島野 広幸

1999年度教員検定会が終了しました。最終的に、パラグライダー教員12名・ハンングライダー教員5名が新たに誕生します。受検者の皆さん、たいへんご苦労さまでした。いずれも即戦力となる素晴らしい方々なので、各エリアで大活躍されると思います。実戦でさらにスキルアップするには、良い生徒にめぐり合うことも、重要なポイント。エリアのフライヤーの方々も、新教員を盛り上げてください。

JHFが毎年行っているこの検定会は、検定員から見ても、年々受検者のレベルが上がってきていることがわかります。しかし、検定合格を最終目標にするのではなく、さらに上を目指すつもりで、頑張ってください。

私たちの

クラブ

です!

## MT.MIKAMO HANGGLIDER & PARAGLIDER CLUB

## みかも山ハング・パラグライダークラブ

関東ローム層沖積平野を北へ遡ること数十軒、闊然として視線をば競り上げるに、遍き碧霄の下半分に山容の秀美さを披瀝する山塊が現れて、はて、あの山の名は何ぞと問い糺すに、あれなるは三叢山、万葉の古えより歌に詠まれける名山ぞ、云々……と柄にもない文語調は身にも余って厄介なもの、増して気障のそしりを受けるなら不本意も甚だしい。ここは一番、語り口を替えて、これからクラブの紹介をしてみます。

さて当クラブは約20年前、ハンングライダーのクラブとして発足し、その後パラフライヤーも会員に加え、一昨年から栃木県よりクラブ運営を委託され県営エリアとなり、現在にいたっております。会員数はおよそ60名。週末ともなれば、アドバイザー会員の監督のもと、クラブハウス前のモノ・ラックにて山頂に登り、遠く筑波山

系・新宿副都心、近くはエコロジー運動の創始者田中正造が夢の跡、今はバルーン・フリーフォール・セールプレーンの一大スカイスポーツエリア、渡瀬遊水池を望みつつ、高度差170mのテイクオフ地点から飛び立てば、正面の広大・平坦なランディング場へは、ノン・プロブレムに着地可能です。その標高ゆえに強烈なサーマルは望めませんが、素直な山の形状が演出するスムーズな気流によりリッジソアリングが手軽に楽しめ、アーベントサーマルに乗れば長時間のソアリングも可能です。またB級生の高高度飛行の練習にも最適なロケーションといえましょう。

次はクラブ員紹介。ハングとパラの両刀使いが多い当クラブの会長はTさん。県との交渉・兄弟エリアの大平スカイパークの運営等、家業そっちのけの忙しさに「飛べない」のが悩みだそうです。工事部部長のSさんは、施設の充実に命を賭け過ぎ「飛んでいる」を目撃されたことがほとんどないという奇特な御仁。仏像の木彫りに命を燃やすT医師。オカリナに目覚めたKさん。食料調達係のAさんの山沈ビールの味は最高です。年間飛行本数200本を越えそうなのがクラブのルーキーN君。最近B級クラブ(会員数名!)のボスに任命されたのは、かく言うB級10年生の私めです。

さてさて、当クラブは前記のとおり「県



テイクオフ地点からランディング場をのぞむ。

営」クラブです。しかし誤解しないで欲しいことがあります。それは当クラブが、堅苦しさとは全く無縁、「来る者は拒まず」の、柔らか感性にあふれるフライヤーが集うクラブだということです。また助教員証を持つ会員がボランティアで開くハング・パラの体験レッスンが、初心者に思いのほか好評で、何人もの方が参加していらっしゃいます。

箆にも棒にもかからない御託を並べてしまいました。でもJHF会員の皆さん、こちらへおいでの際は、きっと当クラブを訪問してください。末筆ながら、この紙面を提供していただいた方々へ、多謝、多謝です!

当クラブへのご連絡は、TEL.0284-43-2400、FAX.0284-41-7693(高橋会長宅)まで

記: 川島原理



1999年5月に行った大会の表彰式の様。

## 県連ニュース

### 宮城県ハンググライディング連盟 宮城の空フライトエリアガイド完成

初雪の便りが届き、併せて山間道路の冬季閉鎖と、宮城のバラ・ハングファンには長く辛いエリアクローズの白い冬が、忍び足で確実に近づいて来ています。今月はJHFレポート読者の皆さんへ、宮城県連よりプレゼントのお知らせです...というより情報提供といった方が正しいかな？ 県連安全対策委員会が「宮城の空フライトエリアガイド」をまとめあげました。ご希望の方はFAXかハガキで下記広報係までお申し込みください。たくさんの方のご連絡をお待ちしています。なお、数に限りがありますので、お早めどうぞ。

宮城の空フライトエリアガイド申込先  
〒983-0832 仙台市宮城野区安養寺1-32-31  
宮城県ハンググライディング連盟  
広報担当・川越敏明 FAX.022-234-7905  
〔川越敏明〕

### 埼玉県ハング・パラグライディング連盟 「彩の国カップ2000」開催

埼玉県連では、会員の親睦、技術の向上を目的とした県連パラグライディング大会を毎年開催しています。前回はスカイラブエリアにて最高のコンディションに恵まれ大盛況でした。記念すべき2000年(第12回)の大会は、秩父の破風山エリアで開催します。会員ではない方の参加も可能なので、奮ってご参加ください。

開催日：2000年1月29日・30日 開催地：皆野町破風山エリア 参加資格：JHFパイロット証を保持しフライヤー登録の有効な方 参加費：1万円(パーティー代込み) 申し込み先：〒336-0017 浦和市南浦和3-33-14 2F(有)ジェネス内 埼玉県ハング・パラグライディング連盟事務局 TEL.048-882-2730 FAX.048-882-2517  
〔長島信一〕

### 愛知県フライヤー連盟 AFF設立5周年記念「補助動力付パラグライダー大会」報告

去る11月7日(日)午前8時30分から愛知県常滑市の「名半エリア」にて第1回補助動力付パラグライダー大会が開催されました。当日は天候に恵まれ朝から絶好のモーター日和で、大会エントリー者は11名。優勝は小林幸治、2位は白鳥正武、3位は亀嶋泰でした。優勝の小林幸治選手には優勝トロフィー、賞金5万円、バンダナが贈られ、

各選手も豪華商品を手にし大満足でした。午後からは、参加者全員でお隣の知多市の新舞子海岸(片道約10km)まで編隊飛行を楽しみました。

大会開催にあたり、中日パラグライダースクール、第一興商のみなさんにご協力をいただきました。ありがとうございました。大会の詳細内容は県連ホームページでもご覧いただけます。〔山口貫太郎〕

### 福岡県ハング・パラグライディング連盟 「ロマンスケ丘PG大会」報告

10月23日・24日の両日、94年のパラグライディング日本選手権のサブ会場であった「ロマンスケ丘」で、福岡県連主催のPG大会が開催された。残念ながら両日もフォローの強風で、フライトはできなかったが、グラハンゴールレースを、23日には県連各クラブ懇親会も開かれ、楽しいひとときを過ごした。〔越智善治〕

### 鹿児島県ハング・パラグライディング連盟 スカイフェスタ“よしまつ”報告

平成4年に県内で初めてのパラグライディング競技会となる「パラグライダー吉松カップ」が開催され、以来、吉松町の地形的な好条件を背景にスカイスportsの町づくりが行われてきました。平成6年からはスカイフェスタ“よしまつ”として、吉松町のイメージ発信、物産販売等が同時に行われています。

今年も10月30日・31日の2日間開催され、1日目は上床エリア、2日目は魚野エリアで競技が行われました。エントリーは

100名。鹿児島県が28名、県外が72名。遠くは北海道(美幌町)から3名、東京都から2名が参加しました。圧倒的に県外からの参加が多く、年々エントリー者が増える傾向にあります。

競技内容は、2日とも、いかに遠くまで速く行けるかを競うゴールレース。1日目は晴れ。午前中東風(フォロー)によりゲートクローズ。11時30分にゲートオープン。弱いサーマルをつかみ確実に上げた5機が、イベント会場近くの最も遠いランディング場に届き、観客の歓声が上がった。

2日目は晴れのち曇り、北東の風5m。10時30分にゲートオープンし、メインランディングに36機が舞い降りた。午後から風が強くなり2時にゲートクローズ。

メイン会場では、いろいろなイベントが行われ、スタッフ数も延べ377名(うちボランティア260名)にのぼり、スカイフェスタ“よしまつ”は、盛況のうちにおわった。結果は、総合1位が鶴丸、2位中村、3位前川各選手。レディース1位に胸永、2位辻、3位岩田各選手。〔黒木悦子〕

### 訂正とお詫び

前号の県連ニュースで、青森県ハンググライディング連盟の情報のなかに、以下の間違いがありました。訂正してお詫び申し上げます。

冬でも飛べる青森県連公認エリアの田子スキー場(田子町)連絡先、高比座さんは(誤)TEL.0179-22-3523  
(正)TEL.0179-32-2211 です。



左から2位白鳥、1位小林、3位亀嶋各選手。(愛知県連)



スカイフェスタ“よしまつ”の表彰式。(鹿児島県連)



ロマンスケ丘PG大会の参加者たち。(福岡県連)

### 検定会開催予定(1999年11月25日現在)

PGP:PGパイロット学科 PGNP:PGノービスパイロット学科 HGP:HGパイロット学科 XC:PG&HGクロスカントリー学科 補助:補助動力学科 PGT:PGタンデム学科 HGT:HGタンデム学科(いずれも数字は定員)

開催日	時間	開催地	会場	PGP	PGNP	HGP	XC	補助	PGT	HGT	主催者	電話番号
1/23(日)	9:00~12:00	熊本県阿蘇郡阿蘇町	阿蘇ネイチャーランド	10	10		10				阿蘇ネイチャーランド	0967-32-4196
2/27(日)	18:00~20:00	神奈川県横浜市神奈川区	神奈川県民センター会議室	15	15	15	15	1	20	10	神奈川県連盟	0460-3-5391
2/27(日)	9:00~12:00	熊本県阿蘇郡阿蘇町	阿蘇ネイチャーランド	10	10		10				阿蘇ネイチャーランド	0967-32-4196
3/26(日)	9:00~12:00	熊本県阿蘇郡阿蘇町	阿蘇ネイチャーランド	10	10		10				阿蘇ネイチャーランド	0967-32-4196

# クロスチェックをしよう！声を掛け合おう！

ウッカリミスを防ぐために

後藤 望

ウッカリミス、ヒューマンエラー。

それは人間ならばどうしても避け得ない落とし穴である。様々な事故防止対策を施した機材、ハードが考案されても、それを扱うのが人間の手順、ソフトである限り、必ずこのウッカリミスの魔手が忍び寄る。そして何年も飛んだベテランであるほど、油断、慣れという面から、この悪魔が入り込みやすいのも事実である。

残念ながら今年の5月に岐阜で、そしてまたしても10月に熊本で、パラグライダーのレッグベルトの締め忘れという、典型的なウッカリミスで機体から墜落し、死亡するという事故が連続して発生した。

レッグベルトの締め忘れ、まさにウッカリミスの典型的なものである。風待ちで装具を外した、忘れ物をしていったん装具を外した、サーマルが出てきてテイクオフを焦った……このように、決められた手順以外の要素が入った時、ウッカリミスが私たちに忍び寄る。

このウッカリミス防止するには、一体どうしたら良いのであろうか。

ミスの起こりようの無い機材、ハードの改善は決め手の一つである。しかしどのように優れた機材であっても、扱う人間のソフトが正しくなければ、その用をなさない。つまりハードとソフトとの両方が変わらなければならないのである。この場合、注意しようと呼びかけるだけなら、誰にもできることであり、殆ど意味をなさないのは言うまでもない。現行のものからガラリと手順が変わるような、具体的な改善が必要である。

そこで、次のような手順の改善の提案をしたい。

以下はパラグライダーを対象にした手順ではあるが、ハングライダーにも殆どそのまま準用できるので、ぜひ採り入れて頂きたいものである。

その提案とは、

1 「クロスチェック」を点検の中に採り入れよう。

2 テイクオフ寸前に必ず「声を掛け合おう」というものである。

既にクロスチェックの方式は、教習検定委員会が公式に採用しており、今回増刷されたパラA - B教本では「飛行前点検」という条項が新たに書き加えられた。その中に「クロスチェック(相互点検)」という項目が記載されている。つまりこれからは、クロスチェックの概念を持った後輩が巣立つ事になるのであるから、先輩フライヤーは、その時にうるたえないようにして頂きたいものである。

また「声を掛け合おう」というのは、念には念を入れて、テイクオフ寸前に「点検は良いか」という注意喚起を、お互いに行い合おうという事である。幾ら良い手順を定めても、実行しなかったら絵に描いた餅で

ある。風待ちをしている時などの後に、又ケがでる可能性は大であるからだ。

## 1. クロスチェック

クロス・チェック、直訳すれば「交差点検」という事になるが、要するに本人だけの点検で終わるのでなく、他人の注意力をいれた点検をしようという事である。つまり、ちょっと大事な点検などでは、どこでも必ず行われている事で、決して特異な点検方式ではない。身近なスポーツでは、スカイダイビングはギアチェックという名称で、仲間同士で点検を行う習慣がある。これは全世界共通のもので、見知らぬ同士でも行い合うものである。また車両の整備などでも、重要な項目は検査員が再度検査確認を行う。これも形こそ違え、れっきとしたクロスチェックだと言える。

ここで、歴史の長い、軍隊の落下傘降下では、このようなウッカリミスはどうやって防止しているか見てみよう。

ここではこのクロスチェックがふんだんに取り入れられている。すなわち、

1 装具装着時に詳細に点検しながら装着(セルフチェック)

2 装着後、仲間同士で点検(クロスチェック)

3 航空機搭乗前に降下長の点検(クロスチェック)

4 降下直前に自分及び仲間同士で点検(セルフチェック、クロスチェック)

と、このように四つの点検方式の内、三つまでがクロスチェックを採り入れている。この方式はほぼ全世界の軍隊で共通の手順となっている。自分では点検しにくい部分もあるという、シチュエーションの違いもあるが、これは大いに参考にすべきである。

さて、我々パラ・ハング族がこのクロスチェック方式をどのように採り入れるか。私たちの現在の点検方式は、一般的には以下のようなになる筈である。

### 1 飛行機材点検

機材装着時に装着しながら詳細に点検する。これは今まで誰もがやっている。テイクオフとは別な空き地などで、自分で装着しながら丁寧に点検している事を言う。

### 2 最終点検(テイクオフ直前の点検)

空き地から機体を担いでテイクオフに移動し、機体をセットして、テイクオフする直前にもう一度簡単な点検を行う。これも誰もがやっている。

クロスチェックとは、「この二つの点検方式の間に、もう一回他人の目で、最重要項目のみ、お互いに点検しあおう」という事である。つまり、パラで言えばハーネスを装着し、機体をカラビナにセットし、キャノピーをまとめて担いで移動する際に、お互いに最重要項目のみ点検し合うのである。ハングで言えば、機体を組み立て、装備を身に着け、機体を担いで移動する際

に、もう一度お互いに最重要項目のみ点検しあうのである。

この習慣が確立すれば、ウッカリミスの相当部分は防止可能であると思われる。

以下にパラグライダーを例にとって、クロスチェックの雛形を書き出してみよう。

### 1 クロスチェック(相互点検)の時期

最初に機材を装着する時と、最終的なテイクオフの直前の点検との間に行う。

### 2 クロスチェック(相互点検)の要領

(1) 機材を装着した後、テイクオフに移動する間に、フライヤー相互で行う。

(2) 点検を受けるフライヤーが、点検して欲しい部分を一覧表に従って声に出して読み上げる。

(3) 点検をする仲間のフライヤーはそれに従って点検を行う。

ここで「点検を受ける本人が、点検を受けたい部分を声に出して呼称し、点検を行うフライヤーはそれに従って点検をする」のは、フライヤーの自己責任をより明確にするためである。

### 3 クロスチェック一覧表

(1) 股ベルトは確実にセットされているか

(2) 胸ベルトは確実にセットされているか

(3) カラビナの安全装置は確実にロックされているか

(4) 緊急パラシュートの閉鎖ピンは確実にロックされているか

(5) その他カメラ、無線機、パリオなどの機材の脱落防止は良いか

クロスチェックを終了した後、テイクオフエリアに移動をして機体をセットし、自分で最終的な点検を行う。

最近のパラ界では、レッグベルト締め忘れ防止装置付きのハーネスが発表されている。これは非常に有用な機材で、今後次第にこのハーネスが普及して来るものと思われるが、その場合でもクロスチェックは有用であり、必要である。バックルが完全閉鎖していない可能性もあるし、なによりも緊急パラシュートの閉鎖ピンは自分では確認しにくいし、その他の機材の脱落防止も再確認する必要があるからだ。

## 2. 声を掛け合う

テイクオフ直前にもう一度声を掛け合おうというのは、さらに念には念を入れた安全対策である。

どのように素晴らしい手順が考え出されても、実行しなかったらそれまでである。決められた手順を、決められたように行っている場合には、事故は発生しない。そこに決められた以外の要素が入って来る時に、ウッカリミスの魔手が忍び寄る。風待ちで待機して一服するためにハーネスを外した、忘れ物をして取りに行った、風が良くなって慌てた、今まで使っていない機材を初めて使った等々……

これからはどんな時も、機体をセットし

でテイクオフに立つ仲間に声を掛けよう。  
「点検、OKか？」

最後に貴重な警鐘となってくださったお二人のご冥福を心から祈るとともに、両氏の死を無駄にしないためにも、私たちはウツカリミスの防止に全力で当たらなければならない。「クロスチェックと声掛け」、この二つの習慣が日本から確立し、世界に普及することを心から願うものである。

### フックアウトを防ぐ

ハンググライダーのうっかりミスでは、カラビナをスイングラインにかけ忘れてテイクオフする「フックアウト」がある。フックアウトは、機体とフライヤーが接続していないため、重大事故につながる。これを防ぐには、フライヤー自身がテイクオフ前に必ずカラビナを

チェックするのはもちろん、そこで第三者が見て触って点検する。フックアウト事故で幸いにも命を落とさずに済んだフライヤーは「何故かけ忘れたかわからない」と口を揃える。本人が点検したと思っても、たいへんな見落としをしていることがあるのだ。

## INFORMATION / 大空情報板

着水ビデオができた！

11月号に掲載した、パラグライダーの着水実験がビデオになった。題して「パラグライダー飛行中・着水したらどうなるか」。パラフライヤーの水難事故を防ぐため、JHF安全性委員会と教習検定委員会が作ったもの。どのタイプのハーネスで不時着水したらどうなるか、着水してから風などに引っ張られたらどうなるか……といった実験を記録。撮影・編集ともプロの手による。

飛行中に水にはまったら危険だ。それは誰もが知っている。しかし、具体的にどのように危険なのだろうか。万一着水してしまったら、どんなことが起こるのだろうか。それをこのビデオが見せてくれる。パラフライヤー必見だ。また、学校の教材として、フライヤーのタマゴにも見てほしい。

希望者はJHF事務局にFAXで申し込みをFAX.03-5840-8312 価格は送料こみで1本2,340円。まず、郵便局か銀行で代金を振り込み、その控え(送金票)をFAXする用紙に貼りつける。用紙は白い紙なら何でも

OK。「着水ビデオ」希望と明記。住所・氏名・電話番号・希望本数を記入して、前記番号にFAXする。問い合わせは、JHF事務局 TEL.03-5840-8311へ。

・代金振り込み先

郵便振替：00180-8-650201

銀行振込：さくら銀行 新橋支店

普通 3517333

口座名：日本ハンググライディング連盟  
(郵便局・銀行とも)

JHFへの送金は銀行振込か郵便振替でJHFでは、事務局業務の円滑化を図るために、技能証申請料や教本代金など、すべての入金を銀行振込または郵便振替に限ることを決めた。事務局での直接受付もないので、要注意。

これまでは、現金書留などを受け付けていたが、郵送された金額と申請内容が合わないことが頻りにあり、担当はその処理に多くの時間を取られていた。そのため申請書発行などが遅れることにも。そこで現金の取り扱いは一切しないことになったも

の。

今後JHFに送金する時には、郵便振替か銀行振込で(口座番号は前記「着水ビデオができた！」を参照)。技能証申請は、申請書に送金票控えのコピーを同封して、事務局へ郵送する。FAXで申し込むものも、送金票控えをFAX用紙に貼り付けること。事務局の仕事がスムーズに進むよう、ご協力を。なお、うっかり現金を送った場合、4月1日以降はそのまま返送される。

スクール情報登録の利用を

JHFホームページのスクール情報は、これからハング・パラグライディングを始めたいと思っている人にとって、貴重な情報を提供している。しかし、99年の情報登録校は98校と、ちょっと減っている。2000年からは、ホームページやJHFレポートに掲載するだけでなく、JHFの公的データとして積極的に紹介していくことに。

まだ登録していないスクールは、ぜひ登録を。登録方法の問い合わせは、各都道府県連盟まで。

## 日本ハンググライディング安全性委員会(JHSC)議事録

10月定例委員会

日時：1999年10月21日(木)13時30分～17時  
場所：東京都港区立生涯学習センター202学習室

出席者：〔委員〕齋藤紀、岡良樹、小宮國男、下山進、幸路尚文 委任状 阿部郁重、鈴木康之、泉秀樹

〔機体登録申請者〕ファルホークインターナショナル有限会社

型式登録審査

パラグライダー新規登録

市販型

・DAE KYO式EDEL CONFIDENCE S型(合格：PI-736)

・DAE KYO式EDEL CONFIDENCE M型(合格：PI-737)

・DAE KYO式EDEL CONFIDENCE L型(合格：PI-738)

・DAE KYO式EDEL CONTROL XS型(合格：PI-739)

・DAE KYO式EDEL CONTROL S型(合格：PI-740)

・DAE KYO式EDEL CONTROL M型(合格：PI-741)

・DAE KYO式EDEL CONTROL L型(合

格：PI-742)

PGハーネスの着水試験報告

予定されていた、パラグライダー用ハーネス着水試験の記録ビデオ試写は、納品が遅れたため次回以降に延期となった。

PG事故の現地調査報告

9月5日、静岡県伊豆地区で発生したパラグライダー同士の空中衝突事故(1名死亡)について、泉委員が現地へ聞き取り調査に赴き、報告書を提出した。

11月定例委員会

日時：1999年11月18日(木)13時30分～17時  
場所：東京都港区立生涯学習センター204学習室

出席者：〔委員〕齋藤紀、岡良樹、下山進、泉秀樹 委任状 鈴木康之、幸路尚文  
〔機体登録申請者〕有限会社ジェネス

型式登録審査

パラグライダー新規登録

市販型

・アドバンス式イブシロン3 24型(合格：PI-743)

・アドバンス式イブシロン3 26型(合格：PI-744)

・アドバンス式イブシロン3 28型(合格：PI-745)

・アドバンス式イブシロン3 30型(合格：PI-746)

PG事故の現地調査報告(続き)

9月5日、静岡県東伊豆地区で発生したパラグライダー同士の空中衝突事故(1名死亡)について、現地へ聞き取り調査に赴いた泉委員が、前回提出した報告書に基づき説明を行った。

訃報 頓所好勝さん

1999年11月29日、固定翼ハンググライダーの設計で知られる頓所好勝さんが亡くなった。

頓所さんは1915年、長野県に生まれた。中学卒業後、翼作りを独学。自力で設計・製作した固定翼ハンググライダー「頓所型」が1943年に最良滑空比20:1を出す。1980年に「頓所型」の飛行に成功。同機を改良し82年には自ら操縦し1時間のソアリングも。

偉大な先駆者のご冥福を祈ります。

# 理 事 会 ダ イ ジ ェ ス ト

## 11月18日理事会

1999年11月18日(木)13時30分～19時  
東京都港区立生涯学習センター202学習室・JHF事務局 出席：川添喜郎・小林朋子・朝日和博・関谷暢人・横尾和彦・岩間雅彦・田中美由喜・星野納・松田保子・松永文也各理事、宮川雅博監事 欠席：渡邊敏久理事、坂本三津也監事 議長：松永文也  
JHF2000年度事業方針について審議

川添から事業方針案が提出され、これを審議。文中に実務関係のことは入れず(賛成9)、社会への貢献、フライヤーへのサービス、ハング・パラグライディングの普及と振興、情報提供等を柱とした文案を作り直す。次回理事会で継続して審議する。

事業計画と予算案作成要領について審議  
川添からJHF事業計画と予算案の作成要領案が出され、これを賛成9で可決。ただし案の言葉を見直し適切な表現にする。

2000年度事業計画案の策定について審議  
小林から検討資料として、事業案一覧が提出された。その内容を常任理事会で検討し、次回理事会で継続して審議することに。一覧に追加したい事項は11月中旬に小林に知らせる。

都道府県連盟の会員資格について審議  
2000年から新しいJHFフライヤー会員制度がスタートするのに伴い、各都道府県連盟の会員をどう促えるか、川添より審議の提案があった。審議の結果、以下のように決定。1.フライヤー会員登録は都道府県連盟正会員になる資格と解釈する(賛成8)。2.フライヤー会員費に含まれる都道府県連盟登録費は、JHF指定事業費として解釈し、別途会費徴収は都道府県連盟に任せる(賛成9)。3.フライヤー会員が各都道府県連盟

の正会員(総会議決権を有する)となるか否かについては、都道府県連盟それぞれの解釈に任せる(賛成9)。

フライヤー会員登録受付代行業務契約規程について審議

川添から規程案が提出され、これを審議。案の一部を削除、また言葉を追加したうえで、賛成9で可決。この規程は2000年1月1日から施行される。

技能証申請料等の受付方法について審議  
事務局(小林)より、申請料等の受付方法として、事務局人件費をおさえ、トラブルを防ぐために、現金または為替の扱いをやめることが提案され、賛成8でこれを承認。2000年1月1日から、JHFへの入金は郵便局または銀行の口座にしてもらうこととする。

JHFレポート印刷及び発送業者の決定について審議

2000年以降、JHFレポートの印刷と発送を依頼する業者を決定するため、4社の入札によって広報出版局が候補を1社に絞り、これを賛成9で承認。現在も印刷と発送を依頼している日本印刷(株)に決定した。

2000年のJHFレポートの発行について審議

広報出版局(松永・松田)から2000年のJHFレポート発行予定が提出され、これを賛成9で承認。2000年1月、2月、4月、6月、8月、10月、12月に発行。

業務委託契約について  
事務局(横尾)より、1999年度の委託内容と金額の提案があったが、すでに今年度の半ば以上をすぎていることから、これをさらに次回理事会で継続して審議し、2000年度から実施することにした。

FAI賞候補者推薦について

2000年のFAI各賞の候補者として推薦したい人を文書理事会で決定することとする(締切が迫っているため)。ペペ・ロペス・ハンググライディングメダル、FAIハンググライディングディプロマ、FAIポール・ティサンディエ・ディプロマ、FAIエアスポーツメダルの各賞。

移転に伴う定款変更について審議  
文京区春日へのJHF移転に伴い、定款第2条「この法人は、事務所を東京都港区新橋2丁目5番6号に置く。」を、「この法人は、事務所を東京都に置く。」に変更することについて審議。賛成9で可決。3月総会の議案として提出する。

在日外国人インストラクターの公認について審議

在日外国人のパラグライダーパイロットから、JHF公認インストラクターとして認めてほしい旨の文書が届いたが、日本語がほとんど話せないことから、助教員・教員技能証を出すことはできないと結論(賛成7)。本人に返答することに。

HG教本の発行について審議  
広報出版局(松永・松田)から、HG教本の発行時期、サイズ等について案が出され、その方向で制作を進めることを、賛成8、反対1で承認。

安全に関する提言について報告  
松田より報告。PG教本の執筆者でもある後藤望氏から、PGハーネスのレッグベルト締め忘れ等を防止する「クロスチェック」が、再度理事会に提言された。

これは理事会で話し合われたこと、決まったことをまとめたものです。議事録が必要な方は正会員(都道府県連盟)まで。

パラグライダースクール、ハンググライダースクールのインストラクターにお勧めします。快適・安全なスカイスポーツに寄与する

## 米国製 ポケットサイズ・デジタル風速計 K-2000型/K-3000型

この性能でこの価格



世界の全てのパラグライダー、ハンググライダー愛好者の間で、圧倒的支持を得ているポケットサイズのデジタル風速計。既に国内各地のスクールへの納入が始まりました。

<仕様>

型 号	K-2000型 ← K-3000型共通
測 定 範 囲	瞬間風速/平均風速/最大風速を表示。表示単位: A トロイ/時(MPH)、キロメートル/時(KM/H)、ノット(KT)、マイル/時(MPH)、フィート/秒(FPS)、センチメートル/秒(CM/S)。表示変換: 1秒 積算時間/4/ 3分 分解除とリセット: KT, MPH, KM/H, MPH-0.1
測 定 精 度	0.3m/sec ~ 40m/sec
測 定 温 度	温度計 精度 +/- 1°C 温度範囲 -15°C ~ +50°C
測 定 風 向	風向計 精度 +/- 2° 風向範囲 0° ~ 360°
測 定 風 速	風速計 精度 +/- 2%
測 定 風 向	風向計 精度 +/- 2%
測 定 風 向	温度 湿度 気圧 高度 ... 3つのセンサー
測 定 風 向	大型LCD液晶ディスプレイ、デジタルディスプレイ(1.5インチ)
測 定 風 向	全ての操作は7つの押しボタンでコントロール
測 定 風 向	100%防水、サブサイズボタン、調整の公称は1日不要です
測 定 風 向	電源: CR2032電池1本(AA) 400mAh
測 定 風 向	サイズ: 22x42x14mm 重量: 44g
測 定 風 向	サイズ: 122x42x19mm 重量: 23g
測 定 風 向	約25cm
測 定 風 向	K-2000型 400mAh 1.5V
測 定 風 向	K-3000型 400mAh 1.5V

商品に関するお問い合わせは 内外機商株式会社・機材部 0542-0582 大阪府中央区東区西1-20-19 TEL:052-5245-0141 FAX:052-5245-0170



## 理事からひとこと

会長 川添 喜郎

このひと月もJHFは大きく活動。10月26日は事務局移転先の春日Shimaビルと正式に契約。28日は保険会社とフライヤー会員登録に関する打合せを行いました。

11月1日はJAAと会員登録に関する交渉。好意的に対処して下さり感謝。13日は茨城県石岡市で開催中のJHF教員検定会に挨拶と講義に。昨年よりやや少ない参加数でしたが、熱気溢れる受講者の姿に今後のJHFを強く感じました。1週間に亘る運営担当の岩間理事、島野教習検定委員長はじめ委員の皆さん、本当にご苦労様でした。18日の理事会では来年度のJHF事業方針案、事業計画作成要領、予算案作成要領等が5時間以上に亘り審議されました。12月12日はJHF事務局の引っ越しの日。今、事務局は準備に大わらわです。

副会長 小林 朋子

フライヤー登録の移管が間近に迫り、リーフレット、各種ご案内用紙、振込用紙などが続々と納品されています。事務所の引越しも間近なので、事務局内は雑然としてきました。

年末に増加する技能証申請の処理もありますので、事務局はフル回転です。細かい事柄が抜けてしまいがちなので、集中力が途切れないようにしながら頑張っています。

1999年末から2000年初にかけてフライヤー登録の更新時期を迎える方には移行時期と重なり混乱させてしまっているかもしれません。JHFまでお気軽にお問い合わせください。

2000年度の事業計画をまとめる時期です。新しい事業の提案も沢山でていて、活発な年になりそうです。

常任理事 朝日 和博

今回は2000年度の予算編成の流れを簡単に説明します。

順序は以下のとおりです。

1. 理事会で基本方針を定めます。
2. 各正会員、委員会より意見を頂きます。
3. 予算編成室で予算原案を作成します。
4. 理事会で予算原案を審議します。
5. 各正会員へ原案を提示します。
6. 修正案、対案をまとめます。
7. 総会にて審議します。

現在は上記の第3段階まで来ています。2000年よりフライヤー会員制度が始まるので、予算の収支が大きく変わります。

常任理事 関谷 暢人

10月11月と、さすがにスポーツの秋と言うぐらい天候が良く、全国各地で競技会が多く開催された。入賞した人達はご満悦の笑みを浮かべ、日頃培ってきた技術を出し切れなかった人達は無念の涙を飲んでいることと思うが、運営するスタッフへの感謝の気持ちを忘れないでほしいものであ

る。そして、その競技会で得た情報、技術などは自分たちの胸にしまっておくのではなく、周辺のフライヤーに広めてほしい。競技に参加しない、いわゆるファンツーフライヤーのレベルアップのために。

全国でのアクシデントは後を絶たない。エリア管理者・指導員の目は全てを見ていくわけではない。自分の事は自分で対処しなければならないのが、このスカイスポーツの特殊な要因の一つである。「見ざる・言わざる・聞かざる」では発展はない。

常任理事 横尾 和彦

全国のフライヤーの皆さん、新年明けましておめでとうございます。

12月に事務局が移転し、JAAから「フライヤー登録」が移管され、いよいよ「真にフライヤーのための事務局」に向けて再スタートです。人員配置等も一新し、強力な態勢で望みます。

私としては、以上の項目を具体的にする提案をしていきたいと考えています。

1. 教員・助教員への支援
2. 正会員（事務局）との連絡の整備
3. スクールへの支援

以上に、フライヤー数減少に歯止めをかけるヒントがあるような気がします。詳細は検討中。ぜひご意見をお寄せください。

「フライヤーの期待に応えられる組織に少しでも近づきたい」と考えています。本年もご理解ご協力をお願い申し上げます。

理事 岩間 雅彦

いまハングの教本を作成中ですが、航空力学など理論的な事柄について再度の勉強の必要を迫られています。一例を挙げると、翼の揚力発生仕組みを従来の各種の教科書ではベルヌーイの定理を用いて説明していましたが、FAI(国際航空連盟)のレポートには異説が載っていることを最近知りました。このレポートでは背面飛行時の翼の状態などいくつかのケースを挙げて、ベルヌーイの定理では十分に説明できないとして、ニュートン力学を適用した別の説明を試みています。フライヤー個人としてはベルヌーイもニュートンも知らなくてもフライトはできる、と言いたいところですが、オフィシャルな教本を作成するとなると、そういうわけには行きません。そんなわけで頭の痛い今日このごろです。

理事 田中 美由喜

10月にDHVのテストをしているマイク・クングが来日した。現在DHVに来る機体のほとんどのテストを行っている彼だが、テストに対しての真剣さに頭が下がる思いがする。いかに客観的に公正にテストするか、グライダーの挙動を見極めるか、その挙動が一時的なものではなくその機体の固有のものであるかを判断するのである。

しかし、一方マイクは、DHVのテストは

現在のところ公正で価値あるものだが、それだけを判断基準にははいけないとも言う。テストは起こりうる状況を想定しているが、実際の厳しい自然状況では、どう変化するかを正確に予測すること自体難しいからだと言う。また、メーカーの努力の結果、安全で性能の高いグライダーが完成されていることから、DHVのカテゴリーで昔のように初心者用、中級者用というような色分けはできないとも言う。重要なのはDHVのテストを参考にして、自分のフライトスタイルとフィーリングを大事に考えること。常に安全に楽しく飛べるように練習は大事ということだ。

理事 星野 納

11月初旬にマイクロライト連盟のFLM理事会に出席しました。JHF・FLMの関係改善について、双方の関係者が一堂に会して話し合う予定になっていましたが、JHF補助動力委員会メンバーの都合がつかず、私ひとりの出席となりました。

補助動力付PG日本選手権の内容、フライヤーの登録などについて、FLMとJAAからそれぞれの要望が出されました。

理事 松田 保子

いよいよ2000年。JHFフライヤー会員登録が始まり、会員個々へのJHFレポート発送がスタートします。これまでレポートを読んだことのない人にも届くことになるので、さらにわかりやすい紙面作りを心がけたいと思います。皆さんのご意見、お待ちしておりますので、よろしく。

先日、友人のモーターグライダーに乗せてもらう機会がありました。以前から、バラ・ハング・セールプレーンはソアリングする仲間なのだから、互いのことをもっと知って、いろいろ吸収し合うといいなと考えていましたが、今回その意をさらに強くしました。まずは情報交換から始めて、同じソアリングスポーツを楽しむ者として翼の形にとらわれない交流ができるようにしたいですね。

理事 松永 文也

現在、2000年度予算の編成作業と同時進行で2000年度の事業計画の策定が進められています。初めに予算ありきではなく、初めに計画ありきという事です。各人が考えつく様々な政策が計画策定作業のテーブルに乗せられ、その可否がこれから討議されていきます。そのうちのいくつかはJHFのあり方に変化をもたらす事は必至と考えられる重要議案です。内容を煮詰め、専門委員会と調整し、予算案とともに一般に公開出来る日が待ち遠しい。と同時にその作業に充てられる時間はあまりにも短い。このジレンマと戦いながら日々作業に取り組んでいます。というわけで皆さん次年度事業計画をお楽しみに。

## 大会報告

### パラグライダー

#### SPS 伊吹山パラグライダーカップ

1999年10月23日・24日

滋賀県坂田郡伊吹町 伊吹山エリア

1位	常泉 雅司	静岡県	1000点
2位	陳 永豊	滋賀県	878点
3位	林 暁生	愛知県	790点
4位	古川 健一	大阪府	754点
5位	松村 浩之	東京都	724点
5位	佐藤 明美	石川県	724点
7位	角田 尚久	和歌山県	697点
8位	上村 茂人	大阪府	674点

1日目は強風でキャンセル。鍋パーティーで選手間の新睦を深めた。2日目は絶好のコンディションの中、51人中43人がゴール。条件を見てリスタートした選手が上位に入った。初めてゴールした選手も多く、大いに盛り上がり、表彰式では伊吹名物シャペンシャワーが降り注いだ。樋口正明

#### 第10回冬の大運動会うまっこ山カップ'99

1999年11月14日

宮城県石巻市トヤケ森山(うまっこ山)

[総合]

1位	菅原 雅彦	宮城県	1366点
2位	神谷 賢司	宮城県	1154点
3位	佐藤 浩満	山形県	1152点
4位	奥山 雄一	山形県	1124点
5位	尾形梅三郎	宮城県	1108点
6位	高橋 弘幸	岩手県	1096点
7位	日野 政浩	宮城県	1094点
8位	三山 健	宮城県	1088点

[女子]

1位	梅原 典子	宮城県	1008点
----	-------	-----	-------

今年も、高気圧におおわれ一日中穏やかな日和に恵まれフライトできた。67名の選手は、例年どおり自己申告セットタイム+バクダン落とし+ターゲットで競い合った。ベスト1フライトを採用するため、4本

リフライトした選手も。集計コンピューターがダウンしたので時間がかかり、表彰式が遅くなり選手の皆さんにご迷惑をおかけしました。 日野政浩

#### 第6回大鹿エリアパラグライダーフェスタ 前号掲載の上位者を以下のように訂正。

1位	真鍋 務	1000.00点
2位	柳 和秀	923.32点
3位	岡 孝充	847.15点
4位	大江麻里子	839.33点
5位	田口 正彰	835.68点
6位	油原 克彰	832.19点
7位	561.90点	で9名

#### ハンググライダー

##### 第2回板敷オープン

1999年10月22日~24日

茨城県八郷町 板敷エリア

[総合]

1位	大門 浩二	茨城県	1150.1点
2位	富原 淳	埼玉県	1037.6点
3位	大沼 浩	茨城県	984.4点
4位	太田 昇吾	千葉県	881.6点
5位	峰岸 正弘	茨城県	762.0点
6位	山本 貢	茨城県	748.3点
7位	堀口 道明	埼玉県	742.5点
8位	中神 克彦	東京都	728.2点

[女子]

1位	谷古宇瑞子	栃木県	118.0点
2位	竹内真由美	東京都	78.6点
3位	古木裕紀子	東京都	41.0点

サラリーマンや学生に参加しやすい大会をとということで始まった板敷オープンの2回目。行事の多い10月でもあり37名の参加に留まったが、今回初めてエアスタートを採用し、おおむね好評だった。3日間とも晴れたものの北風が止まらず、初日は不成立。残る2日も期待していたほどの好条件

とはならなかった。2日目に3人がゴールし、2位だった大門選手が3日目も得点を重ね1位に。2000年も今回の経験を生かし開催したい。 郷田摩純

#### 第16回あぶくま洞オープンカップ ハンググライディング大会

1999年10月30日・31日

福島県田村郡滝根町 仙台平エリア

[総合]

1位	内海 睦弘	福島県	1000点
2位	兼高 一修	埼玉県	882点
3位	斎藤 剛	山形県	863点
3位	伊沢 茂	茨城県	863点
5位	櫻井 康一	東京都	706点
5位	永山 太郎	東京都	706点
7位	松本 功	栃木県	627点
7位	峰岸 正弘	茨城県	627点
7位	石川 博一	秋田県	627点

[女子]

1位	富岡恵美子	東京都	588点
2位	松本 千春	千葉県	451点
3位	亀谷 早苗	埼玉県	353点
3位	榎原 彩子	千葉県	353点

1日目は強風でキャンセル。2日目は朝から曇天、微風、時折霧雨もまじる悪コンディションの中、ゲートオープン。昼すぎの日差しを期待するが天候は好転せず、少ないリフトでのレースとなった。地元の内海選手がアドバンテージをものにし、トップに立った。 佐藤香邦

以下の大会は、コンディション不良のため不成立でした。

'99 リンクスオータムカップ

第1回池田山PGバードマンカップ99

'99米こめカップ in エアパーク三ノ倉高原

'99阿波の国四国三郎パラグライダー大会

### 大会開催予定(1999年11月25日現在)

JL: ジャパンリーグ対象 PS: ポイントシステム対象 (ジャパンリーグ対象、ポイントシステム対象、公認については申請を含む。) 参加資格 XC: クロスカントリー証 P: パイロット証 NP: ノービスパイロット証 B: B級練習生参加可

区分	大会名	日程	開催地	参加資格	参加費	締切	
HG 	公認	第11回丹沢グランプリHG大会	1/8 ~ 11	泰野市横野池区	XC	20,000円	12/15
	PS	〒256-0812 神奈川県小田原市国府津2733-1-102	山本剛	TEL.0465-48-9335			
PG 	公認	2000 Coo ウィンターカップ	2/11 ~ 13	茨城県八郷町エアパークCoo	XC	20,000円	2/3
	JL	〒315-0157 茨城県新治郡八郷町大字上曾1698-1	エアパークCoo	TEL.0299-44-1408			

#### JHF 技能証発行数 (1999年11月30日現在)

ハンググライディング	P証	4,828	パラグライディング	P証	18,167
	C証	6,773		NP証	8,638
	B証	11,350		補助動力NP証	64
	A証	10,761		B証	39,572
	補助動力証	124		補助動力B証	121
	XC証	1,087		A証	42,966
	TD証	25		補助動力A証	152
				補助動力証	891
				XC証	3,437
				TD証	159

JHF ホームページもご覧ください。 <http://jhf.skysports.or.jp/>

### JHF レポート1月号 (No.156)

発行日 1999年12月20日 定価 10円  
 発行 (社)日本ハンググライディング連盟  
 〒112-0003 東京都文京区春日2-24-11 春日 Shimaビル8階  
 TEL.03-5840-8311 FAX.03-5840-8312  
 編集 JHF 企画部広報出版局  
 印刷 日本印刷(株)  
 この印刷物は再生紙を使用しています。

JHF事務局は1999年12月29日から2000年1月5日まで休みます。ご注意ください。